住まいは、生き方

チルチンびと

季刊
87
2016
春

この家具と、暮らす

作家の木の家具
北欧家具
和洋アンティーク

無垢の木の家具カタログ

家具と一生つきあう方法
樹種・オイル・お手入れ図鑑
子育てから考える
木の家具、器、おもちゃ
家具によるシックハウス問題

東日本大震災・木造仮設住宅の記録

新連載・世界の民家、郷土料理旅、手仕事探訪、子育て随想録ほか
第4回「チルチンびと住宅建築賞」発表

人を生かし、風土を生かす家づくり・2　千葉県　㈱グッドリビング　どんぐりの家

千葉の木で家を建てる。住まい手と一体となった地域工務店の取り組み

千葉県野田市に本社を構えるグッドリビングでは、自然素材を使った家づくりに取り組む中で、国産材、そして同じ関東圏である埼玉県秩父の木材の使用に取り組んできた。
そして2014年からは、念願叶って千葉県産材を使った家づくりをスタート。
その伐採ツアーの様子と、県産材で建てた住まいを紹介する。

写真・牛尾幹太　文・上野裕子

現場では森林組合の二人が慎重に２本の檜を伐採。幹へのチェーンソーの当て方などの解説も行われた。

ツアーには子ども連れで参加する家族もいた。伐採した木の輪切りをもらい、喜ぶ子どもの姿も見られた。

伐採現場は、森林組合が管理を行っている60町歩ほどの山。山道を10分ほど歩いて伐採現場へと向かう。

森林組合の案内で君津の伐採現場を見学

グッドリビング主催のツアーが開催されたのは、２０１５年12月初旬。今回のツアーは、千葉県産材の伐採現場の見学とプレカット工場見学、そして苗木の植樹という盛りだくさんな内容。参加者はこれから同社で家づくりを行う施主やＯＢ客など20名ほどで、小さな子どもを伴った家族の姿も見られる。バスで目的地に向かう道中、同社の川村一雄社長は「秩父へのツアーはこれまでに5回実施していますが、千葉でのツアーは2回目。このツアーで、山の少ない千葉県でも、地産地消の家づくりができることを知っていただければ」と笑顔で話す。

まず到着したのは、千葉県君津市の小高い山。伐採現場を案内してくれるのは、千葉県森林組合事業課長の礒部良己さんだ。「この山は杉よりも檜が多く、いずれも55～60年生。最終的な伐採は80

森林組合の礒部良己さん（右）は、「グッドリビングさんのツアーを通じて、千葉県産材の存在を多くの消費者に知っていただければ」と話す。

植樹現場となった、かずさアカデミアパーク近くの森。戦後に植えられた木が間伐や伐採を待つ。

現場は２年前に一度植樹した場所で、木が根づかなかった場所などに再度苗木を植える。

～100年生の頃ですから、今回は間伐を見学していただきます」という説明の後で、迫力満点の伐採の様子を見学。その後の質問コーナーでは、参加者から積極的に質問が出され、杉と檜の見分け方や、大型の重機や車両が入れないため手作業に頼らざるを得ない千葉の山の特徴などの説明がされた。

植樹から製材まで家の材になる工程を知る

次に向かったのが、君津市にある㈱ひらいのプレカット工場。3年前に新設されたという工場では、グッドリビングで使う県産材の加工も行われている。川村社長は「我が社で使う千葉の木をはじめ、秩父の木などもひらいさんで加工してもらっているんです」と説明する。参加者は、広い工場内を移動しながら、マシンが整然と稼働するところを見学。初めて見る工場の様子を興味深く見守っていた。

その後、一行は植樹現場へ。用意された苗約40本を、森林組合の礒部事業課長のレクチャーを受けてから植えていく。参加者とともに苗を植えた川村社長は「自然素材に取り組み始めた頃は、千葉県産の木で家づくりができるとは思っていませんでした。素材にこだわる家づくりに取り組む中で、県の森林組合を紹介していただくことができ、プレカット工場とも提携することができたのです」と振り返る。

植樹を終えた参加者は、千葉の木が植樹から伐採、製材を経て木材になるまでを目の当たりにし、充実した表情を浮かべていた。「この苗が生長して木材になるのは早くて50年後。時々、生長を見に来てください」という礒部事業課長の言葉にうなずいていた。

㈱ひらい プレカット工場

地域で協力することで、県産材の用途を拡大

一行を案内してくれた㈱ひらいのプレカット部副部長である河合正道さんは「弊社はもともと林業からスタートした会社ということもあり、地域の木材を地域で使うことに貢献できればという思いがあります」と話す。

千葉県の木を製材するのは、やはり千葉県内の製材所。徹底した地産地消の取り組みに、一行は感心することしきり。

用意されたのは種から発芽して３年の苗。植えるべき場所にピンクのテープで目印があり、そこの近くに穴を掘り、苗木を植え、しっかりと踏み固める。

礒部事業課長が、苗木の植え方について詳しくレクチャー。

昨年までのツアーでは伐採とプレカット工場を見学しており、植樹は今回が初めて。

１歳の息子さんと一緒に参加した奥さん（右）。「今日植えた苗が、この子がおじいちゃんになった頃に材木になるかもしれないと思うとすごいなあと思います」。

グッドリビングの川村一雄社長（左）とツアーに参加した皆さん。

事例・千葉県流山市Ｉ邸

住まい手も共感する地産地消の家づくり

２階からダイニングを見る。吹き抜けがあるため、上下階で気配が感じられる。

リビングからダイニングとキッチンを見る。南に面しているため、光がたっぷりと入り明るく開放的な雰囲気。

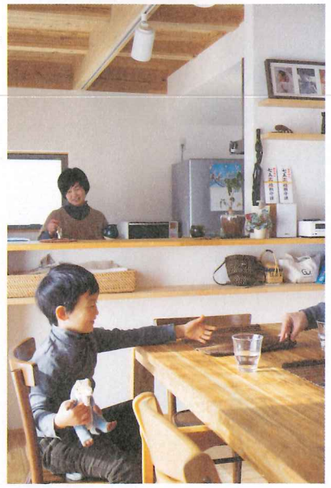
夏にバーベキューを楽しむ庭にはクローバーの種をまいた。今後は家庭菜園などにもチャレンジする予定。

決め手は県産材ストーリーのある家づくり

前述のツアーに家族で2回目の参加をしたＩさん一家の家を訪ねた。もともと流山市内の賃貸マンション住まいだったＩさんは、住み慣れたエリアで家を建てたいと考えていたという。奥さんは「実は当初は、グッドリビングさんとは別の会社にプランの作成を依頼していたんです」と話す。「ところが、提案されたプランはあれ？という感じだったんです。家というよりも設備の話ばかりで、こちらの希望が伝わらない。どうしようかと思いました」。

そんな時にグッドリビングが毎月開催している「無料プラン作成相談会」を知り、参加してみたという。「設計士さんがおだやかに話を聞いてくださること、こちらの希望が伝わり、話が通じることに安心しました」。ご主人も「その時に見学モデルハウスもよかった。土間に薪ストーブがあって、こんな家に暮らしたいなという思いになりました」と話す。

そして決め手になったのが、千葉県産の木材を使っていることだったという。「それを聞いて、ぜ



上／ダイニングとキッチンの開口部の先には、庭へと続くウッドデッキが設けられている。下／キッチンは奥さんの希望で、回遊性のある動線で使いやすく設計。

キッチンに立つと、家全体を見渡せる。ダイニングテーブルはインドネシアの古い家具をリペアしたもの。

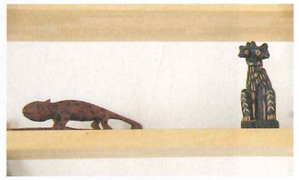
ひ千葉の木で家を建てたいと思いました」と話す夫妻。「私たちが求めていたのは、最新の設備ではなく、使われる素材やその背景にある物語だったんだと、改めて実感しました」。

家族でツアーに参加し家への思いがふくらむ

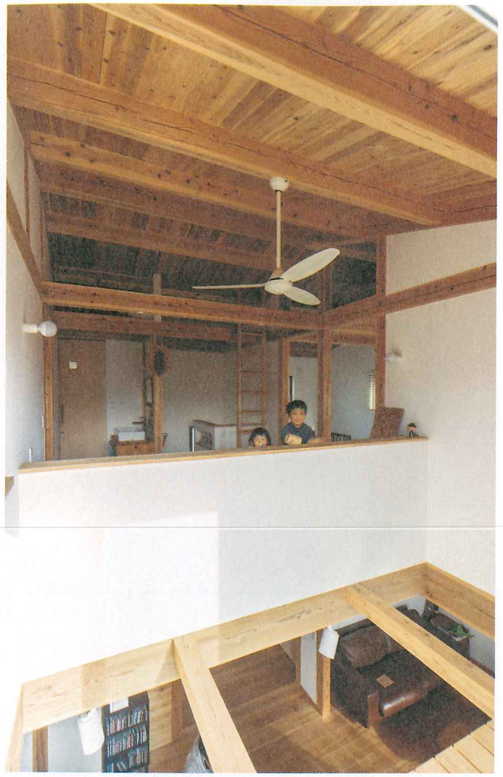
当初提案されたプランがーさんの希望に近かったこともあり、そのシンプルな間取りをベースに、オープンな収納やご主人の趣味の観賞魚の水槽の位置、さらにたくさんある本やCDの置き場所の確保など詳細なリクエストを加えていったとのこと。「プランを相談するうちに、私たちは4LDKといったような部屋数ではなく、空間があればいいんだなということが再確認できました」（奥さん）。

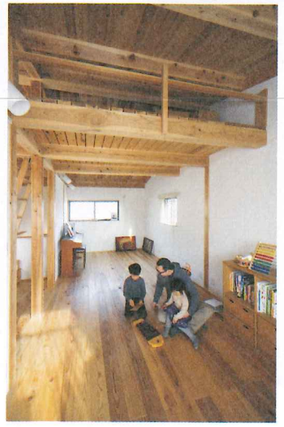
建築中には、第1回の千葉の木の伐採見学ツアーに家族全員で参加。「現場を見せていただいたので、自分の家の木がどこから来てどのように材木になるのかがわかりました。それを子どもたちにも見せられたのがよかったですね」（ご主人）。農学部出身だという奥さんも「国産材で家が建てられることは知っていましたが、千葉の木で家が建てられるとは思っていませんでした。本当の地産地消ってこういうことですね」と話す。

ーさん一家が千葉の木で建てた家に暮らし始めて1年。「子どもたちもお友だちを呼んだり、庭で遊んだり、以前よりものびのびと楽しそうです」と微笑む夫妻。その笑顔が、思いを叶えた住まいでの心地よい暮らしを物語っていた。



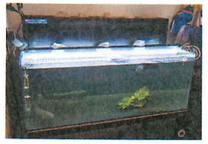
アフリカ在住経験のある夫妻のコレクションが住まい各所を彩る。ユーモラスな木彫りはフクロウがモチーフ（左）。





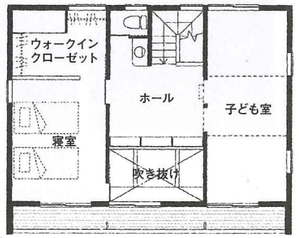
上／2階ホールに、本やCDの収納棚を造り付けた。　下左／ベッドは、木材利用ポイントで購入したもの。　下右／子ども室は将来2部屋に間仕切ることができる。

キャットウォークから吹き抜け越しに2階ホールを見る。吹き抜けに面した壁面裏に設けた収納棚はパソコンスペースとしても使う予定。

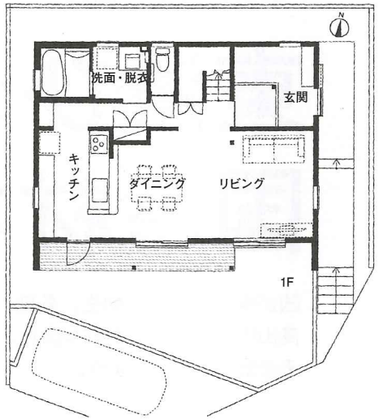


ご主人の趣味である鑑賞魚のための水槽。今は雷魚を飼育している。

板壁が印象的な外観（左）と、玄関へのアプローチ（中）。玄関（右）は収納や水槽置き場のためのスペースをとっている。



2F



1F

Iさん一家と、営業担当の流山支店支店長・吉田信一さん（左）。

DATA

- ＊所在地……千葉県流山市
- ＊家族構成…夫婦＋子ども二人
- ＊敷地面積…149.96㎡
- ＊延床面積…110.13㎡（1階57.96㎡　2階 52.17㎡）
- ＊竣工……2015年1月（工期2014年9月〜2015年1月）
- ＊設計……佐野建築設計室
- ＊施工……㈱グッドリビング　どんぐりの家
- ＊構造形式…木造在来工法
- ＊主な外部仕上げ　屋根＝ガルバリウム鋼板
  外壁＝ガルバリウム鋼板（一部杉）　軒天井＝杉
- ＊主な内部仕上げ　天井＝杉板、無垢ボード
  壁＝珪藻土　床＝千葉県産杉（厚30㎜）

㈱グッドリビング　どんぐりの家　〒278-0026　千葉県野田市花井 1-19-21　0120-234-934
http://www.good-donguri.com/　資料請求番号【8721】